

先の事を思くも長い橋が島に足れば石と羽根田
で別れたのも此の橋も感にうれる

人せ夢の如しとち此の辺にやるとさふたしのか
さて古い事と何処迄も忘れが心だげではな
く物なまが現し日本でも得らぬ珍菓を

美くくわをうしてほしく帰くほぐまます
厚く沙粒とまます 付まうして今ママーと

流し合はるアですかひとしら母松と慰め
のおおなる成るのでもかたまるまかたしと

居ます一扉はまうとが味をいえ文の沙粒子で
何もうと沙粒のまます ちかちかをみ一川

豆で居るまます 老せも力おたつたら一までもミ
ルピタスもたのまなあーなして身うほどもを視

たき果てアとパんちうして居るまます
何んか一命として片付けられあうまますが戦

です(つれど)如何

古いアを思ひ起せし物に尋港をあるは望井石
も大郎心が動してミスとあ淡の上柄とも許し人
つたうか私も自かか掃去するよも不拘望井沙一也
の掃去よも同意しませいでしたアも悪えしやうつた
と思て居ります物ぞくスパイの疑ひありと不
等より望井石を松屋にけりあらう望井石でした
上いなりたらうか我々が極ま不利と成らた頃を
常識でも刻く切らぬアのなを念でしたらう

因に彼後察うパセントは米玉が日本より高いとのア
ですが日本の玉民所得ありしものを認存り予素
米玉のゆくナエニ判りやいふア一実とも離れ
予測・実体と振ふアもせぬなるひで
いややうふし倒れぬと懸念し又

武田沙一様

沙一様ご挨拶

小林正吉